

14mm厚品

M

W

下地・工法

S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
木胴縁工法

留付方法

釘

張り方向

横

胴縁組

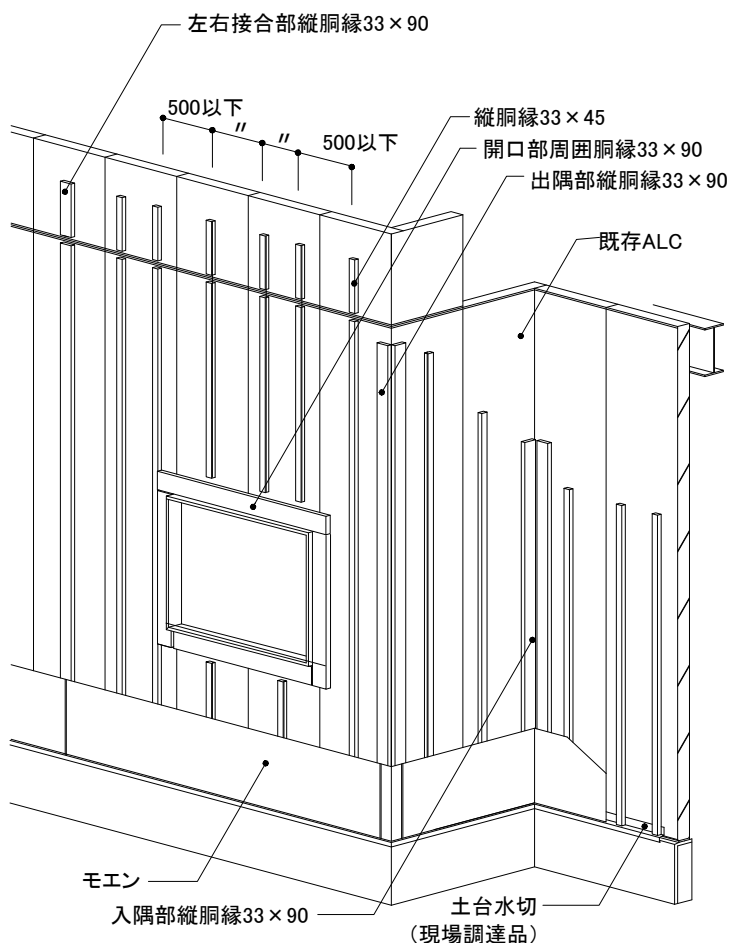
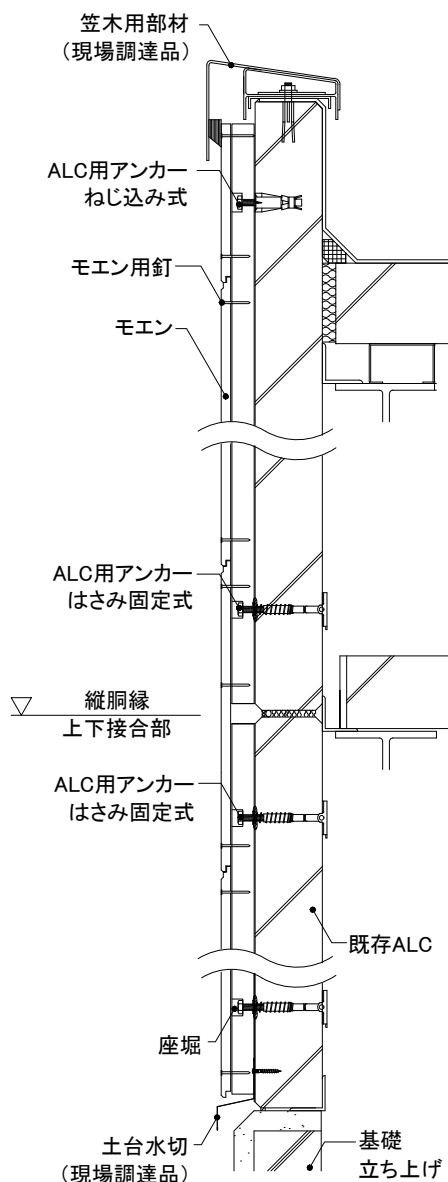
縦胴縁@500mm以下

1) 基本構成図

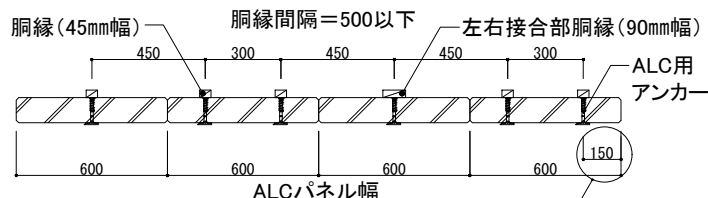
構成断面

- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 下地は図のように500mm以下の間隔で木胴縁を取り付けます。ALCパネルの幅を考慮し、胴縁の間隔を決定することが重要です。
- 左右接合部・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには、必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は木胴縁を通さず、縁を切ります。

ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込み式で施工します。



※ALCパネルへの縦胴縁(モエン釘打ち施工)の割り付け



※アンカーの端部からの必要距離

- ・モエンの釘打ち施工の胴縁間隔は、500mm以下
- ・ALCパネルの標準パネル幅は、600mm(が多い)
- ・ALC用アンカーの施工基準は、ALC端部から150mm以上

上記の施工基準から、胴縁の割り付けは、

- パネル中央の胴縁とパネル中央振り分けの2本の胴縁を交互に施工
- 全てのALCパネル中央振り分けで2本の胴縁施工のどちらかとしてください。